

(19)



JAPAN

PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 02182903 A

(43) Date of publication of application: 17.07.90

(51) Int. Cl

A41C 1/00

(21) Application number: 63333465

(71) Applicant: WACOAL CORP

(22) Date of filing: 30.12.88

(72) Inventor: TANDA KAZUYO

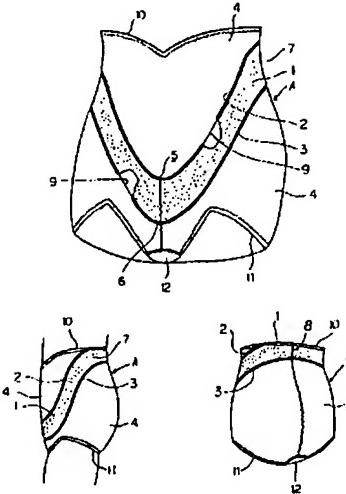
(54) SUIT FOR FOUNDATION AND THE LIKE

(57) Abstract:

PURPOSE: To obtain a foundation always attaching to fixed position on body surface and regulating pressing pressure without difference of strain and relaxation by installing low stretchable tape at specific position.

CONSTITUTION: In a foundation clothing such as girdle or body suit, a tape 1 having stretchability smaller than stretching of lower half body-constraining part material 4 is attached to said lower half body-constraining part material 4. Left and right parts of said tape 1 are joined at back center position 8 near waist line by gentle convex arising of upper edge 2 of said tape from front center position 5 upside of abdominal region upper than pubis. Lower edge 3 of said tape 1 is started from front center position 6 of lower side of abdominal region near pubis and passed on both side parts 7 lower than near of waist line, then the left and right parts of said tape 1 are joined.

COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio



⑬Int.Cl.⁵
A 41 C 1/00識別記号
E庁内整理番号
2119-3B

⑭公開 平成2年(1990)7月17日

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全4頁)

⑮発明の名称 ファンデーション等の衣服

⑯特願 昭63-333465

⑰出願 昭63(1988)12月30日

⑱発明者 反田 員世 京都府京都市南区吉祥院中島町29番地 株式会社ワコール
内

⑲出願人 株式会社ワコール 京都府京都市南区吉祥院中島町29番地

⑳代理人 弁理士 小泉 静夫

明細書

1. 発明の名称

ファンデーション等の衣服

2. 特許請求の範囲

1. 上側縫2と下側縫3を持つ広幅帶状のテープ片1が、前身頃から後身頃に亘る下半身部に囲繞されるファンデーション等の衣服Aであって、該テープ片1は他の下半身部構成部材4より小さな伸縮特性に製出されると共に、その上側縫2は恥骨より上方の下腹部上方前中心位置5から緩やかに凹弧状に上昇してウエストライン近傍の両脇部7を通過し、同ライン近傍の後中心位置8で接合され、下側縫3は恥骨に近接した下腹部下方前中心位置6から、同ウエストライン近傍より下方の両脇部7を通過し、後中心位置8で接合されるように延設されていることを特徴とするファンデーション等の衣服。
2. 広幅帶状のテープ片1が切替えによって下半身部構成部材4と縫合一体化される請求項1記載のファンデーション等の衣服。

3. 広幅帶状のテープ片1が切替えによって下半身部構成部材4と縫合されるに際し、下半身部構成部材4の縫合縫9の各辺長より短かい辺長を有するテープ片1の上下側縫2、3を、引き伸ばして縫合一体化される請求項1記載のファンデーション等の衣服。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は主としてガードル或いはボディスーツ等の体形を美麗に整えるファンデーション等の身体に密着させて着用される衣服に、テープ原法の原理を展開せしめて成るファンデーション等の衣服に関する。

従来の技術

従来よりテープ療法と称して、例えば下垂した腸(内臓)を持ち上げて物理的に上方へ移動させ、而して腸(内臓)の働きを正常に復帰させる治療法が周知されている。

斯かるテープ療法は医薬品の如き速効性が期待し得ないとしても、常時服用に基く乗客或いは服用

せねば腸（内臓）が正常に活動しない状態を是正するものとして、注目されているところである。

このテープ療法にあっては、例えば幅員5cm程度、長さ30cm程度の片面に粘着材が塗布されたテープ片を腹部右側へ貼付する場合には、仰向けに寝た状態でテープ片の一端をヘソと恥骨体表面の中間部に貼付し、テープ片の他端を脇腹の下方に在る第10助骨方向へ貼り、然る後、右膝を立てて上体を不動にしたまま腰をひねり、右膝を左側へ倒した状態で、そのテープ片を強く引き伸ばして胴のくびれから背中方向へ斜め上方へ貼付するものである。

この貼付方法を腹部左側へも実施することで、腸（内臓）が上方へ持ち上げられ、而して腸の働きを正常に維持促進すると共に、便秘等の症状を解消しようとするものである。

既述したるようなテープ療法を身体腹部に用いた場合、当該下腹部を押さえ腸（内臓）を上方へ持ち上げる効果を演ずるものであるが、従来法によ

るとテープ療法を実施する毎に、テープ片を毎回貼付、交換せねばならず、非常な煩わしさを有すると同時に、目的とする貼付すべき部位から外れて変位した部位に貼付されたり、緊締或いは弛緩した不規則な押圧力となり易く、常に一定の効果を奏しない弊みがあった。

解決しようとする問題点

然るに、本発明によるファンデーション等の衣服にあっては、既述したるような諸種欠陥に鑑みて茲に開発されたものであって、ガードル或いはボディースーツ等のファンデーション等の衣服に、在來のテープ療法と同様の作用効果を組み込むことで衣服着用時には常に体表面の一定部位に当接され、且つ当該押圧力もまた緊緩の差なく一定化せしめ得たファンデーション等の衣服を提供することを目的とする。

またファンデーション等の衣服であるに拘らず、あたかも腹部にテーピングされた状態と同様の緊締、押圧力を作り得る、特に医療用として好適となるファンデーション等の衣服を提供することを

目的とする。

問題点を解決するための手段

上記したる目的を達成するがために、本発明によるファンデーション等の衣服にあっては、上側縁2と下側縁3を持つ広幅帯状のテープ片1が、前身頃から後身頃に亘る下半身部に囲繞されるファンデーション等の衣服Aであって、該テープ片1は他の下半身部構成部材4より小さな伸縮特性に製出されると共に、その上側縁2は恥骨より上方の下腹部上方前中心位置5から緩やかに凹弧状に上昇してウエストライン近傍の両脇部7を通過し、同ライン近傍の後中心位置8で接合され、下側縁3は恥骨に近接した下腹部下方前中心位置6から、同ウエストライン近傍より下方の両脇部7を通過し、後中心位置8で接合されるように延設されており、そうして広幅帯状のテープ片1が切替えによって下半身部構成部材4と縫合一体化されており、そうして広幅帯状のテープ片1が切替えによって下半身部構成部材4と縫合されるに際し、下半身部構成部材4の縫合縁9の各辺長より

短かい辺長を有するテープ片1の上下側縁2、3を、引き伸ばして縫合一体化されているファンデーション等の衣服を特徴とするものである。

次いで本発明によるファンデーション等の衣服に関する実施に際する一例を詳述する。

本発明は、例えばガードルまたはパンティガードル或いはボディースーツ等の、所謂体表面に密着して着用される衣服に適応出来るものであるが、茲では腹部や臀部の形状を補整した造形するため着用されるガードルについて説述する。

Aはガードル等の衣服であって、上方には開放するウエスト部10、下方にはパンティ式の裾部11とクロッチ片12とを備え、少なくとも後述するテープ片1と、伸縮性の優れたツーウェイトリコット等より成る下半身部構成部材4とによって製出されるものである。

尚、前述裾部11はパンティ式のみならず、脚部を備えた裾部であっても問題はない。

1は一定の広幅帯状をしたテープ片であり、その幅員は3乃至6cmの定幅のものが使用される。

これより広幅である **押圧作用** が甚大となってテープ原法には不適正なり、またこれより細幅であれば、着用時に吸い込み作用のみ生じ、不快な着用感となるに過ぎない。

このテープ片1は、衣服Aに於ける前身頃から両脇部7を通過し、更に後身頃の後中心位置8へと至る、所謂下半身部を傾斜して囲繞するように配設されるもので、該テープ片1以外の他の下半身部構成部材4と比較して、極めて小さな伸縮特性を持つ素材か、或いは非伸縮性の素材によって製出されるものである。

換言すれば、下半身部の特定部位の周縁に、明らかな強弱の伸縮特性が出現するよう構成されて成るものである。

2はテープ片1の上側縁であって、該上側縁2は衣服Aを着用した際、恥骨より上方の下腹部上方前中心位置5から夫々左右方向に、凹弧状となるよう緩やかに上昇し、丁度ウエストライン近傍の両脇部7へ至り、更に延設されてウエストライン近傍の後中心位置8へ臨むように配設されてい

る。

ファンデーション等の衣服のうち、ガードルにあっては、第3図に図示するように後身頃に於いてテープ片1の上側縁2が、衣服Aのウエスト廻りを形設している。

3はテープ片1の下側縁であって、該下側縁3は恥骨に近接した下腹部下方前中心位置6から夫々左右方向に、凹弧状となるよう緩やかに上昇し、ウエストライン近傍より下方の両脇部7へ至り、これが更に延設されてウエストライン近傍より下方の後中心位置8へ臨むように配設されており、テープ片1の夫々延長方向の端縁は、前身頃に於いては下腹部前中心で、また後身頃に於いてはウエスト部後中心で夫々縫合によって連続的に接合されている。

そうして広幅帯状をしたテープ片1の長手方向にある上側縁2および下側縁3と夫々接する下半身部構成部材4は、両縁が切替えによって縫合一体化されており、そうして広幅帯状をしたテープ片1が切替えによって下半身部構成部材4と縫合さ

れるに際しては、下半身部構成部材4の縫合縁9の各辺長より短い辺長となるようにテープ片1を構成し、もってこのテープ片1の上側縁2と下側縁3とを夫々引き伸ばして両者が縫合一体化されるものである。

また、必要に応じて縫合一体化されたテープ片1の裏面に、更に別布を裏打ちすることで、よりハードな伸縮特性を得ることが可能となる。

発明の効果

本発明によれば、ガードル等の衣服であるに拘らず、在来のテーピング療法と同等の機能、作用効果が招來するものであり、テープ片と下半身部構成部材との伸縮特性を異ならすと同時に、テープ片を供すべき部位を特定し、且つ長短の辺長を持たせて切替えにより、縫合一体化したものであるため、衣服着用時には身体の体表面に貼付されたテーピングと同一の効果が生起し、下腹部に当接されるテープ片は、面状に腹部内方へ押圧作用が生ずると共に、後中心位置で接合されたテープ片が腹部を上方へ持ち上げる作用が生じ、従って腸

(内臓) を抑え込みながら上方へ引っ張り上げるため、腸(内臓)を正常位置に復帰させ、且つその働きを通常に維持し、腸(内臓)の下垂化を阻止出来ることとなる。

もってテープ原法の如き、毎回貼付と剥離を繰り返す煩雑さは解消し得て、必要時に衣服を着用するのみで、瞬時にて該療法と同一効果を奏し得、手間が省けて、便秘や生理不順等を解消出来る効果がある。

また、テープ片はキックバック(戻り)の強い伸縮性素材或いは非伸縮性素材等を用いることで、下腹部を引っ張り上げる効果が演出し得るものである。

4. 図面の簡単な説明

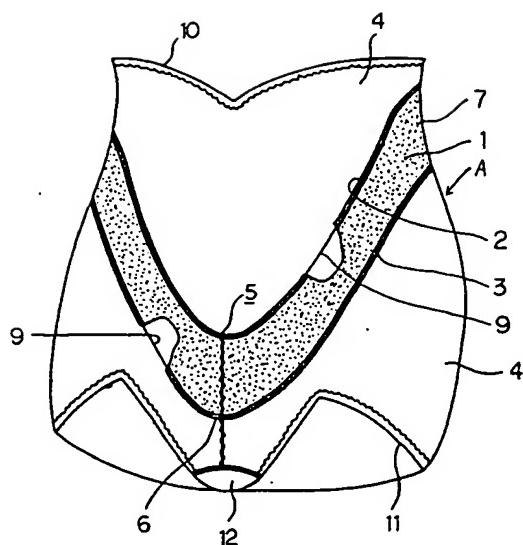
図面は本発明による実施の一例を示すものであって、第1図はガードルの一部切欠正面斜視図、第2図は着用時の側面図、第3図は背面斜視図である。

- 1 テープ片
 2 上側縁
 3 下側縁 下半身部構成部材
 5 下腹部上方前中心位置
 6 下腹部下方前中心位置
 7 脇部 8 後中心位置
 A 衣服

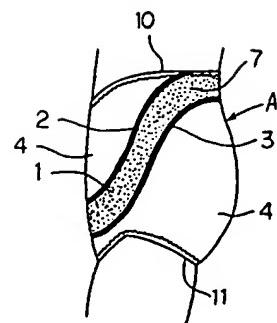
特許出願人 株式会社ワコール

代理人 小泉 静 

第1図



第2図



第3図

